

# 平成30年度大阪府立高津高等学校 第1回学校運営協議会会議録

日時 平成30年7月20日(金) 18時30分～19時30分

場所 校長室

出席者

(委員) 森田 英嗣 (大阪教育大学理事・副学長)

新崎 国広 (大阪教育大学教授)

竹村 伍郎 (NPO 法人まち・すまいづくり理事長)

浅田 千鶴 (同窓会副会長)

中川 哲也 (元PTA会長)

東郷 俊也 (PTA会長)

(事務局) 山崎 晃昭 (校長)、藤原 隆志 (教頭)、山崎 義文 (事務長)、伊勢田 佳典 (首席)、

山口 優 (首席)、菅 康之 (企画広報部長)、吉田 昌美 (記録係)

## I. 挨拶

### ① 校長より

今年度新着任である校長、事務長の自己紹介。

今年度より新たに「学校運営協議会」が設置。6名の委員の皆様へ就任のお礼。

## II. 学校からの説明・報告

### ① 学校運営協議会について

今年度より国の法令の改正に伴い府立学校に「学校運営協議会」をおくことになった。

前年度までの「学校協議会」との違いは、

1. 次年度の学校の運営方針(「学校経営計画」の“1めざす学校像”と“2中期的目標”)を承認していただくことが必要であること
2. 職員の採用等に関する意見を述べるができるということ の2点である。

実施要項第9条に基づき 会長・副会長の選出

会長・森田氏、副会長・浅田氏が選出される。

### ② 平成30年度「学校経営計画」の進捗状況等について

#### ○近況報告

- ・100周年記念事業で、昨年完成したクリエイト・ラボでは、今年度に入ってから同窓生講演を2回実施するなど様々に活用している。また、すべての教員室にエアコンを設置していただき、特に今夏の猛暑の中、労働環境が改善され助かっている。
- ・新1年(73期生)より全員文理学科となり、学年全員が新たなカリキュラムで課題研究をしている。
- ・SSHについては、平成20年度より5年毎の指定を受け、平成30年度も第3期目の指定を受けたが、重点枠からは外れた。
- ・GLHS評価審議会で、高津高校の様々な取組みは評価されているが、これをどう進学実績につなげていくかが課題である。

#### ○「学校経営計画」進捗状況

##### \*2中期的目標—1

- ・難関国立大学合格者63人と昨年度よりやや減少となった。
- ・大学入試改革にどう対応するかを視野に入れたうえで、授業にどう取り組むか、ベテラン教員の経験や知識を若い教員にどう引き継いでゆくか等、「高津授業メソッド」として各教科で目標を

定め、結果を全教員で共有する。

- ・73期生は今年度全員が年2回GTECに取り組み、2020年大学入試改革の英語外部試験の対応も行っている。
- ・海外語学研修は、今夏、ニュージーランドとオーストラリアの2カ国で実施。先週はキャンベラ・ガールズ・グラマー・スクールの生徒が来校、明日からは本校生が先方へ行く。
- ・体験型進路学習については、すでに1年生(73期生)で7月に職場訪問を実施した。1クラスが7班にわかれ、1年全体で63の職場を訪問、インタビューをし、それをまとめて各クラスでパワーポイントを使ってプレゼンテーションを行い、各クラスの代表9班がクレオ大阪東で発表し、好評を得た。

\*中期的目標2—2

- ・「遅刻者を減らす」という目標に各学年で取り組んでいる。現在延べ484名、年2,000名以下をめざしている。
- ・記念祭は、昨年引き続き今年も6月に体育祭を実施した。生徒は大変よく頑張っている。

\*中期的目標2—3

- ・「生徒による授業アンケート」を、毎年7月と12月に行っている。この7月に実施したアンケート結果は9項目平均が3.23と、目標値の3.2をクリアしたが、個人はもとより、教科として、さらなる改善に努めている。
- ・「働き方改革」については安全衛生委員会等で快適な職場環境の形成に努めている。学校として行っている様々な取り組み等による多忙化にどう対応するかが難しい。

\*その他

- ・学校説明会を年5回実施する予定である。6月・7月にすでに2回、1日4回を視聴覚教室で実施した。全回ほぼ満員、また、外部の塾・中学での説明会にも多くの中学生・保護者に参加していただいている。

### Ⅲ. 質疑応答

\*記念式典について

- ・どのような内容か。

⇒基調講演ではなく、ビデオメッセージ(高津の歴史、卒業生からのメッセージ、インタビュー、現役生の様子を撮影したものなど)を予定している。また、吹奏楽部・アンサンブル部・ダンス部など本校生徒の発表もある。

\*73期体験型進路学習について

- ・73期生の職場訪問にあたって10社ほど紹介したが、各社とも、生徒からの質問がすごく(特に女子)、よく調べてきていると好評だった。中には、そのまま入社してくれないかという会社もあった。  
⇒職場のことをよく調べてどう質問するか、聞いた話からさらにどう質問するかなど、“質問力”を高める指導をしている。
- ・福祉面の勉強をよくしてきていて、職員以上であると聞いた。質問力を持っているのだと思う。  
⇒体験型学習を長くやってくることによって向上してきた。はじめはパワーポイントをどう作るかが課題だったが、最近はもっと本質的なところに力を入れるようになってきている。LCIで課題研究の基礎をかなり丁寧にやってきた。その成果が出ているのかもしれない。

\*生徒の安全管理について

- ・異常気象(高温)であるが、病院との連携はしているか。

⇒4月初めに保健部から緊急対応の方法・連携医療機関に関するプリントを全教職員に配布している。

また、熱中症対策講習会も実施している。さらに、OS 1 が保健室、体育教官室にあり、熱中症等軽度のうちに対応できるようにしている。また、クラブ活動では夏の 11 時～14 時の活動制限等を設けている。

・体育の授業は普通に実施しているのか。

⇒授業中に水分補給の時間を取る、水泳授業時に水筒を持参させるなど、給水対応も行っている。

\* 「働き方改革」について

・何か具体的に策があるか。

⇒週 1 回のノークラブデーが昨年から入った。定時退庁日も週 1 日やっている。今年は 8 月 13 日から 15 日に学校休業日が設定された。

・一番残業が多い人の勤務時間はどのくらいか。

⇒月 80 時間を超えると産業医面接を行っている。

・一般では 40 時間が規定だが、80 時間までケアはないのか。

・部活動をどうするかが問題だ。

⇒今年度、府下で 10 校がモデルケースとしてクラブに外部指導者を入れている。

・「働き方改革」と IT は連動している。仕事を減らすよりは IT 化してゆくという感じがする。

⇒メールの利用等で会議は減っているとおもわれる。

・立ってやると会議も仕事も早く終わるらしい。ムダなところをピックアップするところから。

・興味や経験のない部活動の顧問をすることが負担だという意見も出てきている。

・クラブは学校にとって大切だ。クラブが多く、部員数が多いことは一つの実績だ。しかし、それが負担にもなる。教員にも私生活がある。

・スイスの小学校では午前の担任と午後の担任が違ったりする。日本では考えられないことだ。学校だけではなく、社会・保護者も含めて考え方を変えていかないと難しい。連携が必要だ。

\* その他 教科書選定・採択について教科書選定・採択一覧を御覧ください。

今後の予定 第 2 回 平成 30 年 12 月下旬

第 3 回 平成 31 年 3 月下旬